

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2006-285115(P2006-285115A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-108145(P2005-108145)

【国際特許分類】

G 10 L	15/10	(2006.01)
G 06 F	3/16	(2006.01)
G 06 Q	30/00	(2006.01)
G 09 F	19/00	(2006.01)
G 09 G	5/00	(2006.01)
H 04 N	17/00	(2006.01)
G 09 G	5/377	(2006.01)
G 10 L	15/08	(2006.01)

【F I】

G 10 L	3/00	5 3 1 N
G 06 F	3/16	3 2 0 Z
G 06 F	17/60	3 2 6
G 09 F	19/00	Z
G 09 G	5/00	5 1 0 B
G 09 G	5/00	5 5 0 C
H 04 N	17/00	Z
G 09 G	5/36	5 2 0 M
G 10 L	3/00	5 3 1 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月18日(2008.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像表示装置に表示される映像により情報を提供する方法であって、映像表示装置の周囲にいる人の音声を入力する第1のステップと、提供している映像と前記入力された音声の時間的变化の相関を調べることにより前記周囲にいる人の注視度を判断する第2のステップと、を備える情報提供方法。

【請求項2】

請求項1の情報提供方法であって、

前記注視度に基づいて次に出力する映像を制御する第3のステップを有することを特徴とする情報提供方法。

【請求項3】

請求項2記載の情報提供方法であって、

前記第1のステップにおいて異なる位置に設置される複数の音声入力装置で音声を入力し、該複数の音声入力装置からの入力に基づいて前記周囲にいる人の位置を推定する第4のステップを有し、

前記第3のステップでは、前記推定された位置に対応する前記映像表示装置の表示画面上の位置に、前記制御の結果である映像を、前記制御結果以外の映像と重ねて表示することを特徴とする情報提供方法。

【請求項4】

請求項2記載の情報提供方法であって、

前記注視度に基づいて出力した映像に対する操作入力を入力装置から受け付ける第5のステップと、該操作入力に基づいて前記次に出力する映像を制御する第6のステップを有することを特徴とする情報提供方法。

【請求項5】

映像により情報を提供する映像表示部と、該映像表示部の周囲にいる人の音声を入力する音声入力部と、提供している映像と前記入力された音声の時間的变化の相関を調べることにより前記周囲にいる人の注視度を判断する演算部と、を備える情報提供装置。

【請求項6】

請求項5記載の情報提供装置であって、前記演算部は、前記注視度に基づいて次に出力する映像を制御することを特徴とする情報提供装置。

【請求項7】

請求項6記載の情報提供装置であって、前記音声入力部は、異なる位置に設置される複数のマイクを含み、

前記演算部は、前記異なる位置に設置される複数の音声入力装置からの入力に基づいて前記周囲にいる人の位置を推定し、前記推定された位置に対応する前記映像表示部の表示画面上の位置に、前記制御の結果である映像を、前記制御結果以外の映像と重ねて表示するよう制御を行うことを特徴とする情報提供装置。

【請求項8】

請求項6記載の情報提供装置であって、前記注視度に基づいて出力した映像に対する操作入力を受け付けるユーザ入力部を有し、前記演算部は、該操作入力に基づいて前記次に出力する映像を制御する情報提供装置。

【請求項9】

映像により情報を提供する映像表示部と、該映像表示部の周囲にいる人の音声を入力する音声入力部と、該入力された音声からその音声の発話者の属性を推定し、該推定された属性情報に基づき次に出力する映像を制御する演算部と、を備える情報提供装置。

【請求項10】

前記入力された音声から取り出す発話者の属性として、言語名、性別、年齢のうちの一つもしくは複数を取り出す手段を持つことを特徴とする請求項9記載の情報提供装置。